

令和6年度 文教警察委員会 県内所管事務調査の概要

令和6年5月7日（火）

◆調査箇所：大分県立別府翔青高校（別府市野口原）

<概要>

同校は、普通科・グローバルコミュニケーション科・商業科の3学科設置の強みをいかし、グローバルな視点と多様性を認め合う、心の豊かさを持つ人間力の育成を目標として、生徒への指導を行っている。グローバルコミュニケーション科においては、グローバル人材の育成が好事例となり令和4年度に教育実践者表彰で組織として表彰された。

今回は、学校の沿革、令和6年度学校経営方針、生徒数、卒業生進路状況等について説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・学校から教育委員会への要望状況について
- ・部活動の強化及び指導教員について
- ・語学研修の仕組みについて

◆調査箇所：大分県立国東高校（国東市国東町）

<概要>

同校は、人間性の育成、地域に信頼される学校づくりなどを重点目標として地域、日本、世界を支える人材育成に取り組んでいる。今年度から新たにSPACEコースを新設するとともに、来年度からは全学科において宇宙を題材とした学びに取り組むなど、地域と一体となって、魅力ある学校づくりをしている。

今回は、学校経営ビジョン、生徒数等の概要、進路指導等の概要等について説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・環境土木科設置の経緯及び卒業生の実態について
- ・SPACEコースの具体的な取組等について
- ・全国募集の学生への周知方法について

◆調査箇所：杵築日出警察署（日出町藤原）

<概要>

杵築日出警察署（管轄：杵築市、日出町）の管内概況、組織、業務重点の推進状況及び懸案事項（総合的な犯罪抑止対策、子ども・女性・高齢者の安全確保と少年非行防止・保護対策、交通死亡事故の抑止、悪質・重要犯罪等の徹底検挙等）について調査を行った。また、警察署職員が劇団員である双城劇団による特殊詐欺被害防止劇を観劇した。



<主な質疑等>

- ・双城劇団のケーブルテレビでの放送について
- ・令和5年における不良行為少年の件数増加の原因について
- ・サイバーセキュリティカレッジの対象者について

令和6年5月16日（木）

◆調査箇所：竹田市立南部小学校（竹田市君ヶ園）

<概要>

同校は、学校運営協議会などと連携し、学校教育目標である、確かな力を身に付け自分の思いを発信し、自ら考え行動する子どもの育成に取り組んでいる。また、文部科学省の幼保小の架け橋プログラム事業のモデル地域として指定され、南部幼稚園と連携して架け橋期のカリキュラムを協働で作成している。

今回は、学校の沿革、児童数、教職員数、学校経営方針、幼保小の架け橋プログラム等について説明を受けた。

<主な質疑等>

- ・幼保小の架け橋プログラムの児童への効果について
- ・南部幼稚園以外の幼稚園や保育園との連携について
- ・不登校児童の現状について



◆調査箇所：大分県立竹田支援学校（竹田市君ヶ園）

<概要>

同校は、やり方を教え込むのではなく、やり方を児童生徒が見つけ出す授業の実施を目指し授業改善に取り組むとともに、積極的に地域企業と連携した作業学習により、教育を通じた児童生徒の自立支援に取り組んでいる。

今回は、学校の沿革、グラウンドデザイン、生徒数等の概要、高等部卒業後の進路状況等について説明を受けた。

<主な質疑等>

- ・体育館の空調設備について
- ・Wi-Fi環境やスクールバスの現状について
- ・教員確保の課題について



◆調査箇所：大分県立三重総合高校（豊後大野市三重町）

<概要>

同校では、令和5年度からICTを活用し、測量の科目において国東高校環境土木科からの遠隔教育を実施している。さらに今年度からは生物環境科に環境土木コースが新設されるなど、地域からの要望に応え地域に貢献する人材育成に取り組んでいる。

今回は、学校の沿革、グラウンドデザイン、生徒数や入学者者選抜の状況、進路等の概要、学校間連携方式による遠隔教育等について説明を受けた。

<主な質疑等>

- ・大分県立農業大学校との連携及び進学状況について
- ・遠隔授業のニーズ及び生徒の反応について
- ・普通科の定員割れの原因分析について



◆調査箇所：豊後大野警察署（豊後大野市三重町）

<概要>

豊後大野警察署（管轄：豊後大野市）の組織、管内概要、運営重点の推進状況及び懸案事項（総合的な犯罪抑止対策、子ども・女性・高齢者の安全確保と少年の非行防止・保護対策の推進、交通死亡事故の抑止、災害等の緊急事態対策の推進等）について調査を行った。また、同署の後藤劇団で作成した詐欺撲滅・交通安全啓発動画の視聴を行った。



<主な質疑等>

- ・山岳遭難に対する宮崎県警との協力体制について
- ・特殊詐欺への啓発対策について
- ・独居老人を狙った犯罪の傾向について

令和6年5月17日（金）

◆調査箇所：臼杵市立野津中学校（臼杵市野津町）

<概要>

同校は、大分っ子未来創造プロジェクトの実施校であり、子どもの力と意欲を伸ばすキャリア教育推進に取り組んでいる。野津町の魅力再発見で未来を創るをテーマに、農産物やオリジナル弁当を考案するなど協働的な学習を行っている。

今回は、学校経営方針、生徒数、校務分掌、令和5年度大分っ子未来創造プロジェクトにおける取組等について説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・教員配置に対する要望について
- ・今後の小学校児童数の推移について
- ・高校進学及び通学の現状について

◆調査箇所：佐伯警察署（佐伯市鶴望）

<概要>

佐伯警察署（管轄：佐伯市）における組織、管内概要、運営重点（総合的な犯罪防止に向けた各種対策の推進、子ども・女性・高齢者の安全確保と少年の非行防止・保護対策の推進、交通死亡・重傷事故の抑止、悪質・重要犯罪等の徹底検挙、暴力団等組織犯罪対策の推進、災害等の緊急事態対策及び大規模警備諸対策の推進等）について説明を受けた。また、同署が作成した交通安全啓発動画の視聴を行った。



<主な質疑等>

- ・南海トラフ地震等の災害発生時の初動体制について
- ・地元出身職員の配置の必要性について
- ・男性職員の育児休業の状況について

◆調査箇所：佐伯教育事務所（佐伯市長島町）

<概要>

佐伯教育事務所（管轄：佐伯市）における組織、管内学校の概要、管内教職員の状況のほか、管内指導の重点方針（学校マネジメントの深化、授業改善の徹底、体力向上の推進、健康課題への対応等）及び佐伯市教育委員会・校長会との連携強化の取組等について説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・部活動の地域移行の費用負担について
- ・小学校統廃合に伴う通学手段の課題について
- ・こころのコンシェルジュのサポート内容について

◆調査箇所：臼杵津久見警察署（臼杵市臼杵）

<概要>

臼杵津久見警察署（管轄：臼杵市、津久見市）における組織、管内図、概要、運営重点（総合的な犯罪防止に向けた各種対策の推進、子ども・女性・高齢者の安全確保と少年の非行防止・保護対策の推進、交通死亡・重傷事故の抑止、悪質・重要犯罪等の徹底検挙、暴力団等組織犯罪対策の推進等）、懸案事項等について説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・庁舎移転の検討について
- ・交通状況の変化による渋滞対策及び安全対策について
- ・特殊詐欺防止等啓発カレンダーの制作及び配布について

令和6年5月21日（火）

◆調査箇所：大分県立中央支援学校（大分市東大道）

<概要>

同校は、小学部から高等部までの全学部を設置した新たな知的障がい特別支援学校として今年4月に開校した。地域と連携しながら、美術館や図書館などの公共施設の活用等にも取り組んでいる。

今回は、学校の沿革、校名や校章等の選定、校区や児童生徒数、グランドデザイン、校舎・設備等について説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・コミュニティスクールの取組について
- ・学校行事の保護者対応及び金銭面の負担について
- ・看護師の対応状況について

◆調査箇所：大分県立さくらの杜高等支援学校（大分市東大道）

<概要>

同校は、知的障がいのある生徒を対象に、卒業後の企業への一般就労を目指した職業教育を行う、県内初の高等部のみの特設支援学校として令和4年4月に開校した。

今回は、学校の沿革、教育目標・学校経営ビジョン、グラウンドデザイン、生徒数の概要、入学者選考状況、職場実習等について説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・生徒のコース選定方法及び時期について
- ・職場実習の受入企業について
- ・通学及び職場実習への通勤の手段について

◆調査箇所：警察学校（大分市福宗）

<概要>

同校は、品性の陶冶、実力の涵養、融和と団結の三つを校訓とし職責の自覚と使命感・倫理観の醸成、地域警察活動に必要な基礎的知識・技能の習得など五つの教育基本方針を掲げ、初任科生への指導を行っている。

今回は、施設、組織、教育基本方針、初任科生の入校概要、入校期間、入校式及び日課時限等について説明を受けた後、射撃場等の施設について調査を行った。



<主な質疑等>

- ・特殊詐欺に対する学習について
- ・女性警察官の増加による変化について
- ・施設等への要望状況について

◆調査箇所：機動隊（大分市福宗）

<概要>

機動隊は、業務重点（大規模自然災害及び突発重大事案対策の推進、第43回豊かな海づくり大会等の開催に伴う大規模警備を見据えた部隊対処能力の向上など）に取り組んでいる。

今回は、各部隊の概要、活動内容、出動件数等の説明を受けた後、防護服・特殊車両などの装備品や災害訓練等について調査を行った。



<主な質疑等>

- ・装備品の価格、数、重量について
- ・隊員の異動について
- ・消防署との連携について

◆調査箇所：大分県立爽風館高校（大分市上野丘）

<概要>

同校は、単位制による午前・午後・夜間3部の定時制課程と通信制課程を併置した高校として、それぞれの特色をいかし、生徒のライフスタイルやペースにあった柔軟な教育システムにより、生徒や地域のニーズに応じている。

今回は、学校の沿革、教育目標、グランドデザイン、生徒数の概要、入学者選考状況、スクールミッション、卒業進路先等について説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・通信制の生徒数増加等による教育委員会への要望について
- ・県内の通信制学校の状況について
- ・1人1台タブレットの配備について

令和6年5月29日（水）

◆調査箇所：日出町立豊岡小学校（日出町豊岡）

<概要>

同校は、基礎学力と豊かな表現力と主体的に取り組む姿勢を持つ子どもの育成を目指し、地域と共に学校教育を行っており、スクールアシスタント（SA）として保護者や地域の方を募集し、書写や算数等の各種授業補助など、学校の要望による学習支援を効果的に取り入れている。

今回は、学校の沿革、児童数、学校経営方針、SA制度による地域人材の活用等について説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・SAの参加頻度について
- ・SAのボランティア保険の加入について
- ・SAと学校をつなぐコーディネーターの苦労及び必要経費について

◆調査箇所：宇佐警察署（宇佐市上田）

<概要>

宇佐警察署（管轄：宇佐市）の組織、管内概況、運営重点推進項目及び懸案事項（総合的な犯罪抑止対策、子ども・女性・高齢者の安全確保と少年非行防止・保護者対策、死亡交通事故の抑止、悪質・重要犯罪等の徹底検挙、暴力団等組織犯罪対策、若手警察官の実務能力向上と組織の活性化等）について調査を行った。



<主な質疑等>

- ・少年警察ボランティアの具体的な取組について
- ・業務の持ち帰りの状況について
- ・ラウンドアバウト（環状交差点）設置後の事故件数について

◆調査箇所：大分県立宇佐支援学校（宇佐市猿渡）

<概要>

同校は、宇佐市、豊後高田市を通学区域とする知的障がい特別支援学校である。令和5年度は防災教育モデル実践事業のモデル校として、生徒自身が身を守る力を付けるだけでなく、保護者や市役所、警察等の関係機関と連携して防災教育に取り組んだ。

今回は、学校の沿革、学校運営、グランドデザイン、USAスタンダード、児童生徒の実態、卒業生の状況、防災教育及び防災体制の取組と今後の課題等について説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・制服の着用による児童生徒への効果について
- ・大規模災害に対する設備面での備えについて
- ・給食の再調理が必要な児童生徒について

◆調査箇所：中津教育事務所（中津市中央町）

<概要>

中津教育事務所（管轄：中津市、宇佐市、豊後高田市）における組織、管内学校の概要、管内教職員の状況、管内の授業改善に係る成果及び課題、市町村の端末等の活用状況、学力向上に向けた取組、管内児童生徒の健康・体力の状況及び地域移行などの部活動改革等について説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・希望退職者及び普通退職者の理由について
- ・中学生の通信制高校等の進路選択について
- ・若手職員のメンタル休暇の原因分析について

令和6年5月30日（木）

◆調査箇所：日田警察署（日田市田島）

<概要>

日田警察署（管轄：日田市）における組織、管内凶、概要、運営重点（総合的な犯罪防止に向けた各種対策の推進、子ども・女性・高齢者の安全確保と少年の非行防止・保護対策の推進、交通死亡・重傷事故の抑止、悪質・重要犯罪等の徹底検挙、暴力団等組織犯罪対策の推進等）及び懸案事項（特殊詐欺及びSNS型投資詐欺事犯等の抑止、交通死亡事故抑止対策、人材の育成と女性警察職員の活躍推進等）について説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・今年度のツール・ド・九州への対応予定について
- ・署内の設備への要望について
- ・標識倒壊事故の今後の対応について

◆調査箇所：日田教育事務所（日田市城町）

<概要>

日田教育事務所（管轄：日田市、玖珠町、九重町）における組織、管内の学校の概要、教職員の状況、経営方針、重点方針（子どもの力と意欲の向上に向けた組織的取組の推進、信頼される学校づくりの推進等）、重点目標（授業改善の徹底、いじめ・不登校対策の推進等）、校種間連携、夜間中学校模擬教室等について説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・部活動の地域移行における地域間格差について
- ・管内中学生の地元高校への進学率について
- ・フリースクールの設置状況について

◆調査箇所：玖珠町学びの多様化学校（調査場所は玖珠町役場）

<概要>

同校は、公立学校では九州初となる小中一貫の学びの多様化学校であり、学校に行きづらさを抱える児童生徒が自分にあった学びのスタイルを選択できる教育課程を編成し、本年4月に開校した。

今回は、学校教育目標、全国の学びの多様化学校の設置状況、玖珠町の不登校の現状、設立までの経緯、学校概要、カリキュラム、児童生徒数、寄附の受入れ等について説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・他の学校が取り入れることのできる取組内容について
- ・今後の教員配置の予定について
- ・県に対する財政面等での要望について